

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

Bulletin of the National Museum of Ethnology Vol. 18No. 1; Cover, Contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009198

1993—18_卷1_号

国立民族学博物館 研究報告

●
オセアニア・琉球・日本の国生み神話と不完全な子
——アマンの起源—— 崎山 理

カメルーン高地農民の経済生活
——その変容のメカニズム—— 端 信行

漁業儀礼考
——スリランカ・タミル漁村における地曳網漁をめぐって—— 田中雅一

近江のフナズシの「原初性」
——わが国におけるナレズシのプロトタイプをめぐって—— 日比野光敏

Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen:

8. *ard/rd*, 9. *iṣ*, 10. *ukṣ*, 11. *eṣ/iṣ*, 12. *eṣ/iṣ'*,
13. *ok/oc/uc*, 14. *kaṇ*, 15. *vakṣ/ukṣ*——Toshifumi Gotō

Conflict and Continuity in an African-Islamic Polity:

Adamawa Emirate (Nigeria)——Catherine VerEecke



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

18 卷 1 号

1993 年

目 次

オセアニア・琉球・日本の国生み神話と不完全な子 ——アマンの起源——	崎山 理..... 1
カメルーン高地農民の経済生活 ——その変容のメカニズム——	端 信行..... 15
漁業儀礼考 ——スリランカ・タミル漁村における地曳網漁をめぐって——	田中雅一..... 47
近江のフナズシの「原初性」 ——わが国におけるナレズシのプロトタイプをめぐって——	日比野光敏..... 99
Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 8. <i>ard/rd</i> , 9. <i>iṣ</i> , 10. <i>ukṣ</i> , 11. <i>eṣ/iṣ</i> , 12. <i>eṣⁱ/iṣⁱ</i> , 13. <i>ok/oc/uc</i> , 14. <i>kaṇ</i> , 15. <i>vakṣ/ukṣ</i> ...Toshifumi Gotō.....	119
Conflict and Continuity in an African-Islamic Polity: Adamawa Emirate (Nigeria)	Catherine VerEecke.....143
彙 報	177
国立民族学博物館研究報告寄稿要項	179
国立民族学博物館研究報告執筆要領	180

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 18 No. 1

1993

SAKIYAMA, Osamu	Myths on Creation of the Universe and Impersonal Child Descended from Aquatic Animals in Oceania, Ryukyu and Japan	1
HATA, Nobuyuki	The Economic Lives of Peasantry in Cameroon-Highland	15
TANAKA, Masakazu	On Fishing Rituals: A Case of Tamil Beachseine Fishing in Sri Lanka	47
HIBINO, Terutoshi	The Primitive Characters of <i>Funazushi</i> in Ohmi: About the Prototype of <i>Narezushi</i> , Fermented Fish, in Japan	99
GOTŌ, Toshifumi	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 8. <i>ard/rd</i> , 9. <i>iṣ</i> , 10. <i>ukṣ</i> , 11. <i>eṣ/iṣ</i> , 12. <i>eṣⁱ/iṣⁱ</i> , 13. <i>ok/oc/uc</i> , 14. <i>kaṇ</i> , 15. <i>vakṣ/ukṣ</i>	119
VERECKE, Catherine	Conflict and Continuity in an African-Islamic Polity: Adamawa Emirate (Nigeria)	143

彙 報

(平成5年1月～
平成5年3月)

人事異動

(教職員)

(任期满了)

3月31日 館長 梅棹 忠夫
甲南大学教授・第一研究部併任
教授 井上 忠司
東京女子大学教授・第一研究部
併任教授 大林 太良
ライデン大学教授・第五研究部

併任教授

VAN BREMEN Jan Gerhart
アルバータ大学助教授・第五研
究部併任助教授

NIESSEN Sandra Ann

(辞 職)

3月31日 第二研究部教授 片倉 素子
(4月1日付けで中央大学教授に就任)
第二研究部助教授 宮本 勝
(4月1日付けで中央大学教授に就任)
第三研究部助教授 小川 了
(4月1日付けで京都精華大学教授に
就任)

海外における研究・調査・収集活動

氏 名	官 職	出 発	帰 国	行 先
江口 一久	助教授 (第三研究部)	5. 1. 4	5. 3.30	フランス, カメルーン
清水 昭俊	教 授 (第四研究部)	5. 1. 7	5. 3.10	ミクロネシア連邦, マーシャル諸島
藤井 知昭	教 授 (第一研究部)	5. 1. 9	5. 1.13	中国
栗本 英世	助 手 (第三研究部)	5. 1.10	5. 3. 6	ケニア, エチオピア, スーダン
松原 正毅	教 授 (第一研究部)	5. 1.16	5. 1.23	中国
吉本 忍	助教授 (第五研究部)	5. 1.17	5. 2. 5	オランダ, ノルウェー 連合王国
野村 雅一	助教授 (第三研究部)	5. 1.19	5. 1.28	大韓民国
松山 利夫	助教授 (第一研究部)	5. 2. 1	5. 3.17	オーストラリア
立川 武蔵	教 授 (第二研究部)	5. 2.21	5. 3.20	インド, ネパール
吉田 集而	助教授 (第二研究部)	5. 2.22	5. 3. 4	アメリカ合衆国
周 達生	教 授 (第一研究部)	5. 2.26	5. 3. 6	中国
佐々木高明	教 授 (第二研究部)	5. 2.27	5. 3. 6	中国
藤井 知昭	教 授 (第一研究部)	5. 3. 1	5. 3.11	ツバル, フィジー
秋道 智彌	助教授 (第一研究部)	5. 3.12	5. 3.16	シンガポール
長野 泰彦	助教授 (第五研究部)	5. 3.13	5. 3.23	中国

来館者抄

1月22日 HAIKAL M. H. Fayza (エジプト, カイロ・アメリカン大学教授)
1月28日 趙 家 旺 (中国, 広東民族学院副院長)
2月18日 RAZAFINDRAKOTO, Gisele (マダガスカル, シンメディア局長)
2月19日 DALRYMPLE, R. Frederuck (オ

ーストラリア, 駐日大使)
渡辺 和見 (ブラジル, アマゾン森林文化研究会広報普及担当理事)
2月25日 LOWRY, D. Glenn (カナダ, オンタリオ州立美術館館長)
2月27日 金 玄 直 (大韓民国, 韓国国際交流財団文化事業部長)
3月4日 西垣 昭 (海外経済協力基金

- 総裁) 夫妻
- 3月9日 KING, E. James (アメリカ合衆国カーネギー自然史博物館館長)
- RICHARDSON, B. James (アメリカ合衆国, 同館人類学部門部長)
- HIENER, Terry (アメリカ合衆国, 同館人類学部門研究員)
- 3月16日 ユネスコ東南アジアフェロニッパ招聘者一行
- LIU, Jinke (中国, ユネスコ国内委員会庶務室長)
- YUN, Byungsoon (大韓民国, ユネスコ国内委員会出版課プログラム専門官)
- THEERATITH, Somjai (タイ, 教育省秘書室対外関係官)
- WIYONO, Fuad (インドネシア, ユネスコ国内委員会社会科学文化課長)
- PAVUSIRO, Kila (バブアニューギニア, ユネスコ国内委員会事務局長)
- WIJESIRI, Hewahari Kankamalage (スリランカ, ユネスコ国内委員会会計官)
- 3月19日 郭秀芝 (中国, 新疆ウイグル自治区科学探検協会理事)
- 楊新航 (中国, 同会職員)
- 3月22日 張清濤 (中国, 敦煌研究考古所助手)
- 3月23日 呂理政 (台湾, 国立台湾先史文化博物館設立事務所助理研究員)
- 葉美珍 (台湾, 同事務所助理研究員)
- 屈慧麗 (台湾, 国立自然科学博物館助理研究員)
- 3月26日 AUBERT, Laurent (スイス, 民族音楽アトリエ所長 民族博物館管理役員) 夫妻
- 3月28日 外務省平成四年度学者専門家招致事業中国教育行政官代表団一行
- 林炎志 (中国国家教育委員会専職委員)
- 劉来泉 (同委員会人事司副司長)
- 鄭樹山 (同委員会弁公庁副主任)
- 張連枝 (同委員会行政司処長)
- 陳偉光 (同委員会財務司副処長)
- 王曉蕪 (同委員会人事司事務官)
- 白剛 (同委員会国際合作司事務官)
- 3月30日 JANSEN, B. Marius (アメリカ合衆国, プリンストン大学名誉教授)

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスミ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1

国立民族学博物館内

国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたらうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]

[Leach 1961: 123]

[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]

9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。

- (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
- (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。

欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13 (4): 311-330.

Bohannon, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14 (4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse. In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language, The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

1966 『文明をもった生物』日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 18卷1号

〔監 修〕

佐々木 高 明

〔編集委員長〕

友 枝 啓 泰

〔編集委員〕

江 口 一 久

崎 山 理

清 水 昭 俊

須 藤 健 一

田 村 克 己

長 野 泰 彦

野 村 雅 一

福 井 勝 義

官 本 勝

吉 田 集 而

平成5年7月30日 発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 18卷1号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園10-1
TEL 06(876)2151(代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075(441)3155(代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.18 no.1
1993

- SAKIYAMA, Osamu Myths on Creation of the Universe and Impersonal Child Descended from Aquatic Animals in Oceania, Ryukyu and Japan
- HATA, Nobuyuki The Economic Lives of Peasantry in Cameroon-Highland
- TANAKA, Masakazu On Fishing Rituals: A Case of Tamil Beachseine Fishing in Sri Lanka
- HIBINO, Terutoshi The Primitive Characters of *Funazushi* in Ohmi: About the Prototype of *Narezushi*, Fermented Fish, in Japan
- GOTŌ, Toshifumi Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 8. *ard/rd*, 9. *iṣ*, 10. *ukṣ*, 11. *eṣ/iṣ*, 12. *eṣ/iṣi*, 13. *ok/oc/uc*, 14. *kaṇ*, 15. *vakṣ/ukṣ*
- VERECKE, Catherine Conflict and Continuity in an African-Islamic Polity: Adamawa Emirate (Nigeria)



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X